



# 美馬市観光戦略

令和7年度～令和16年度  
(2025年度～2034年度)



2025 (令和7) 年3月

## 1

### 観光戦略策定にあたって

戦略策定の経緯	04
戦略の策定方法	05

## 2

### 美馬市における観光の現状と課題

国の観光動向	07
徳島県の観光動向	09
美馬市の観光動向	11
市民アンケート	13
ヒアリング調査	15
現状分析/課題の抽出・整理	17

## 3

### 美馬市観光戦略

地域のコアバリューの設定	19
将来像と基本コンセプト	20
ゾーニング計画	22
美馬市の目指すイメージ	23
目標指標の設定	24
目標指標及び目標値	25
ロードマップ	26
実施計画	27
実施体制	39



1

観光戦略策定にあたって



# 戦略策定の経緯

本市は、脇町、美馬町、穴吹町、木屋平村の合併により平成17年に誕生し、令和7年には合併20周年の節目を迎えます。本市には「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されている脇町南町（うだつの町並み）や「日本遺産」に認定されている阿波藍、清流・穴吹川をはじめ、市全体に歴史・文化・自然などの魅力的な観光資源があり、それらを活かした観光を通じた地域活性化が求められています。特に、周遊・滞在型の観光に取り組むことが重要であり、各観光資源・施設の連携も必要です。

平成27年度から本市は、「美馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「第2期美馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、人口減少問題の克服と持続可能な地域づくりに取り組んでいます。

また、令和7年度からは、総合戦略を「第3次美馬市総合計画 後期基本計画」と一体化させ、その中の重要な柱の一つとして「観光業の振興」を位置付けながら、本市ならではの歴史や文化、自然等、多様性に富んだ観光資源を最大限に活用し、「滞在型観光」への転換と「儲かる」観光の促進に取り組むこととしております。

広域連携の取り組みとしては、平成20年に美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町の2市2町でにし阿波～剣山・吉野川観光圏協議会を設立し、剣山や吉野川などの地域資源を活かした観光圏整備実施計画を策定しました。直近の徳島県の観光トピックスとして、令和6年11月に徳島県で初めての国際線定期便として徳島～香港間が就航し、さらに翌12月には徳島～韓国間も就航しました。今後は徳島県内の観光地を訪れる訪日外国人も増加することが見込まれます。

さらに発展させるためには本市全体の観光戦略と結びつけながら定期的な見直しを行い、今後10年間における明確な数値目標を設定し、進捗を管理することが必要です。

以上の経緯を踏まえ、本市では観光戦略を策定し、訪日外国人を含む観光客の誘客増加と観光経済の活性化を目指します。



## 戦略の位置付けと期間

本市の観光戦略は、市全体の地域活性化および経済振興における重要な柱として位置付けています。市の基幹産業である農林業や商工業との連携を強化し、地域全体で一体的な観光振興を図る「オール美馬」のアプローチを推進していきます。これにより、地域固有の歴史、文化、自然などの資源を最大限に活用し、持続可能な観光地づくりを目指します。

観光戦略の計画期間については、今後10年間を対象としています。この期間中、明確な数値目標の設定、施策の進捗管理、および定期的な評価・見直しを行い、柔軟かつ実効性のある施策を推進します。また、観光客数の増加や観光消費額の向上に加え、訪日外国人観光客の誘致拡大や地域住民の生活向上にも資する観光施策を展開することを目指します。

### 観光戦略の期間

本戦略の期間は、令和7年度から令和16年度までの10年間とし、策定した施策や数値目標等については、定期的に見直しを行うものとします。

# 戦略の策定方法

本市観光戦略の策定にあたっては、市内の有識者や関係者等で構成される「美馬市観光戦略策定協議会」を立ち上げ、助言やアイデアをいただきながら、本市観光戦略の核となる部分を議論しつつ策定しました。

また、市内の民間事業者、有志、地域住民へのヒアリング調査を実施し、本市の観光振興における強みや弱み、将来像、施策などを抽出し、それらを観光戦略に反映させました。

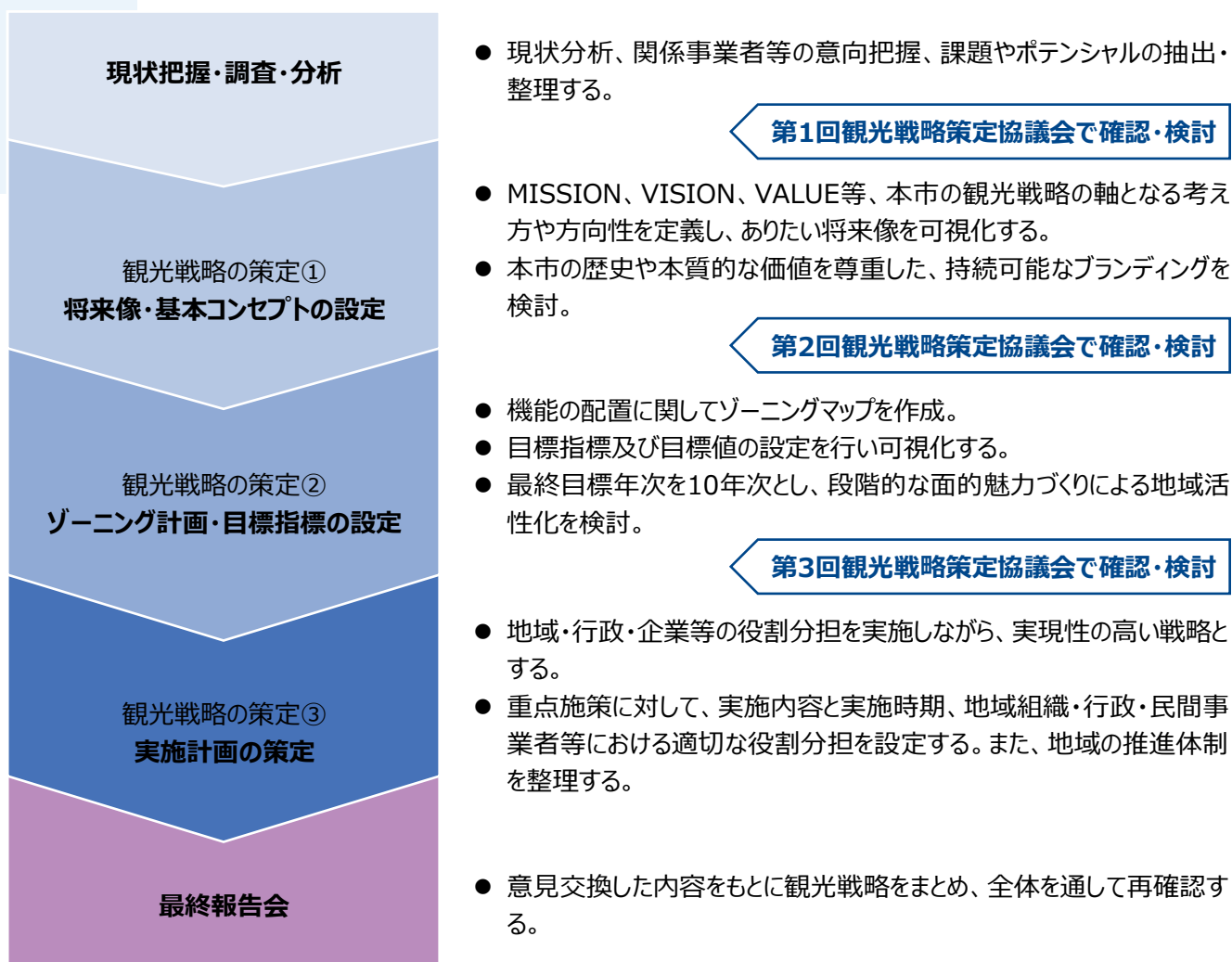
## 美馬市観光戦略策定協議会概要

### 美馬市観光戦略策定協議会

(市内の有識者や観光関連事業者を中心に構成)

- 現状把握・調査・分析
  - 将来像・基本コンセプト
  - ゾーニング計画・目標指標の設定
- 上記を中心に協議会等で諮る

## 観光戦略策定までのプロセス





# 2

## 美馬市における観光の現状と課題



# 国の観光動向

## 国の観光方針

- 日本国内は今後**人口減少**が進むことが予測されており、令和34年（2052年）には約1億人、令和47年（2065年）には約30%の減少が見込まれています。この状況は**地方の衰退をさらに進行させ、各市町の存続にも影響を及ぼす可能性があります。**
- このような人口減少・少子高齢化が進展する中、**国内外からの交流人口の拡大や旅行消費によって地域の活力を維持し、社会を発展させる重要な手段として「観光」が挙げられます。**特に、「**高付加価値旅行者層**」インバウンドの誘致は、**観光振興において重要視**されています。

(参考)観光立国推進基本計画(第4次)概要 ~持続可能な形で観光立国の復活に向けて~ 国土交通省

○ 観光はコロナ禍を経て**成長戦略の柱、地域活性化の切り札、国際相互理解・国際平和にも重要な役割。**  
 ○ コロナによる変化やコロナ前からの課題を踏まえ、我が国の観光を**持続可能な形で復活させる。**  
 ○ **大阪・関西万博も開催される2025年に向け、「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客促進」をキーワードに、「持続可能な観光地域づくり」「インバウンド回復」「国内交流拡大」に戦略的に取り組み、全国津々浦々に観光の恩恵を行きわたらせる。**

計画期間：令和5～7年度(2023～2025年度)

### 基本的な方針

**持続可能な観光地域づくり戦略**

- 観光振興が**地域社会・経済に好循環**を生む仕組みづくりを推進する
- 観光産業の**収益力・生産性**を向上させ、従事者の待遇改善にもつなげる
- **地域住民の理解**も得ながら、地域の**自然、文化の保全と観光を両立**させる

**インバウンド回復戦略**

- 消費額5兆円の早期達成に向けて、施策を奨励する
- 消費額拡大・地方誘客促進を重視する
- アウトバウンド復活との相乗効果を目指す

**国内交流拡大戦略**

- 国内旅行の実施率向上、滞在長期化を目指す
- 旅行需要の平準化と関係人口の拡大につながる**新たな交流需要の開拓**を図る

### 目標

- 早期達成を目指す目標：インバウンド消費5兆円、国内旅行消費20兆円
- 2025年目標（質の向上を軸とし、人数に依存しない指標を中心に設定）

地域づくり	持続可能な観光地域づくり	100地域
① 持続可能な観光地域づくりの体制整備	① 取り組む地域数(新)	100地域
② 訪日外国人旅行消費額単価(新)	② 訪日外国人旅行者一人当たり消費額(新)	20万円/人
③ 訪日外国人旅行者一人当たり地方宿泊数(新)	③ 訪日外国人旅行者一人当たり地方宿泊数(新)	2泊
④ 訪日外国人旅行者数	④ 訪日外国人旅行者数	2019年水準超え
⑤ 日本人の海外旅行者数	⑤ 日本人の海外旅行者数	アジア圏大・3割以上
⑥ 国際会議の開催件数割合	⑥ 国際会議の開催件数割合	3.2個人/人
⑦ 日本人の地方部延べ宿泊者数	⑦ 日本人の地方部延べ宿泊者数	22兆円
⑧ 国内旅行消費額	⑧ 国内旅行消費額	

### 主な施策

- 観光地・観光産業の再生・高付加価値化
- 観光DX、観光人材の育成・確保
- 持続可能な観光地域づくりのための体制整備等
- コンテンツ整備、受入環境整備
- 国内需要喚起
- 高付加価値なインバウンドの誘致
- ワーカーソン、第2のふるさとづくり
- アウトバウンド・国際相互交流の促進
- 国内旅行需要の平準化

**目指す2025年の姿**

- **活力に満ちた地域社会の実現に向け、地域の社会・経済に好循環を生む「持続可能な観光地域づくり」が全国各地に進められ、観光の質の向上、観光産業の収益力・生産性の向上、交流人口・関係人口の拡大がコロナ前より進んだ形で観光が復活している**
- 万博の開催地である我が国が**世界的潮流を捉えた観光地**として脚光を浴び、「**持続可能な観光**」の先進地としても注目されている

## 日本国内における訪日外国人旅行者数・消費金額

- 訪日外国人旅行者数は、令和5年（2023年）で**2,507万人**まで回復しています。
- 令和5年（2023年）の外国人旅行消費額総額は、**5兆2923億円**で、過去最高となりました。
- 今後、訪日外国人旅行者数及び消費額は増加していくと予想されています。
- 日本政府観光局（JNTO）は令和6年（2024年）までの中期目標において、訪日外国人旅行者の消費額増加、地方への誘客促進を図るための取組強化を掲げています。本市への外国人観光客と観光消費額は増加すると期待されています。

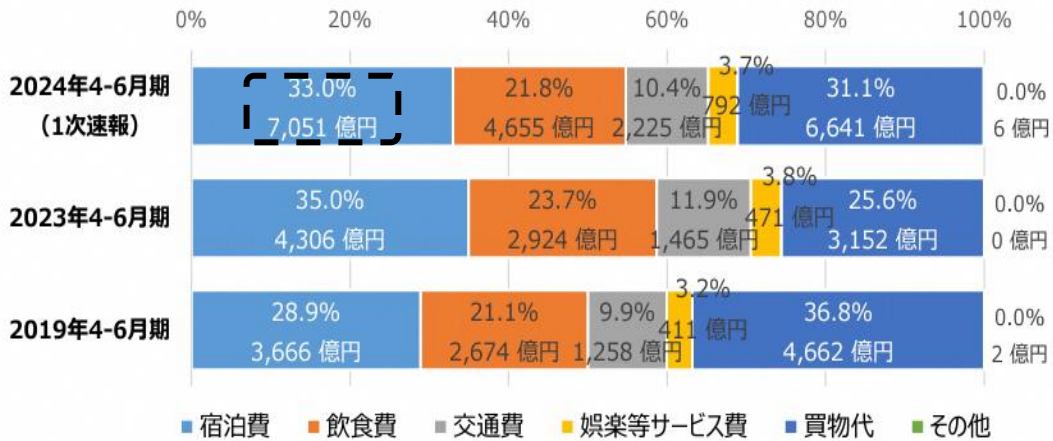


# 国の観光動向

## 日本国内における宿泊動向指数

- 訪日外国人旅行消費額の費目別構成比（令和6年（2024年）4～6月期）を見ても、**宿泊費（33.0%）**と高い割合を占めていることがわかります。
- また、令和5年（2023年）旅行消費額を見ても、**日本人国内宿泊旅行（63.4%）**が高い割合を占めています。
- マネタイズポイントの増加に取り組むには**宿泊施設の増加が不可欠**と言えます。

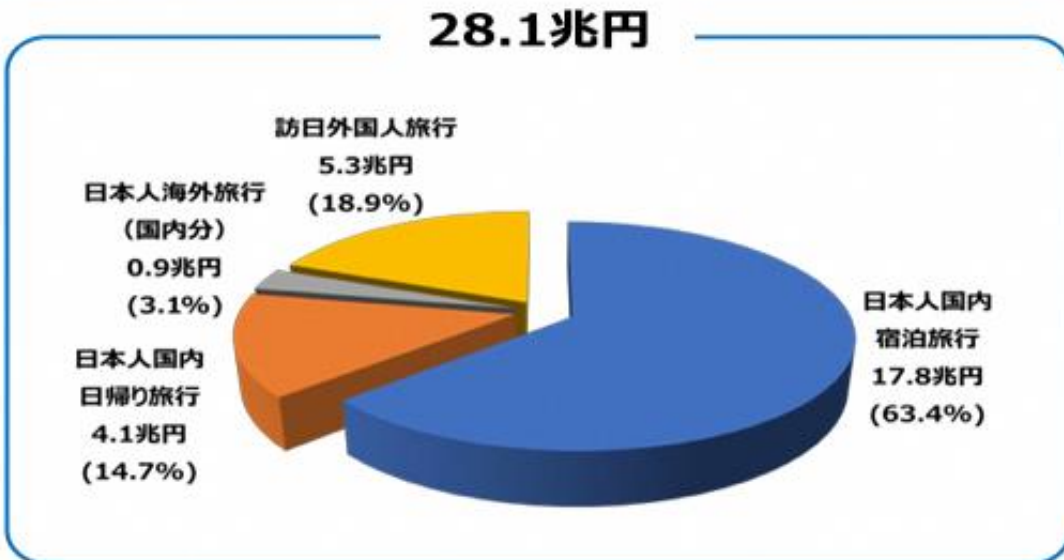
【図表2】訪日外国人旅行消費額の費目別構成比



出典：観光庁「インバウンド消費動向調査」

## 2023年の旅行消費額について

「旅行・観光消費動向調査」2023年（確報）の公表に伴い、日本人海外旅行（国内分）や訪日外国人旅行者による消費額を含めた2023年の日本国内での旅行消費額を併せて公表します。



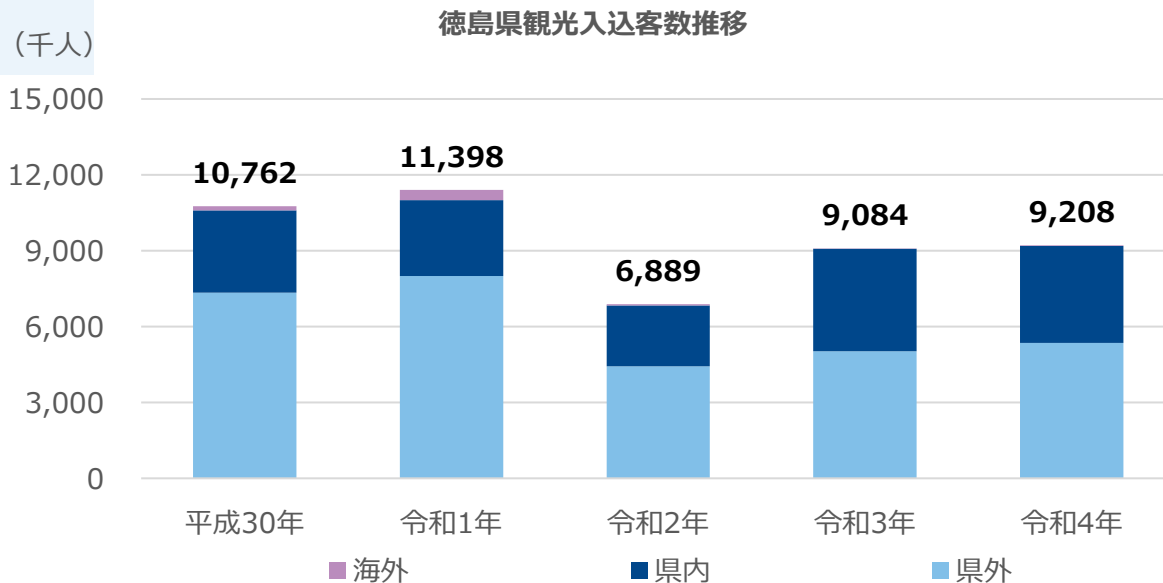
出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査 2023年年間値(確報)」



# 徳島県の観光動向

## 徳島県における観光入込客数

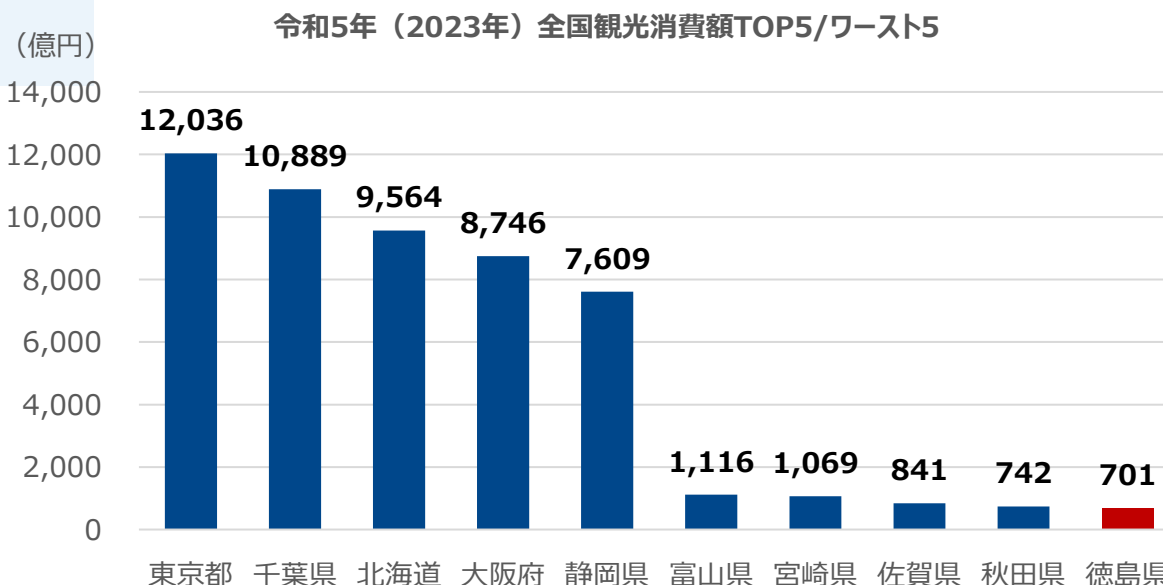
- 令和4年の徳島県観光入込客数は約**920万人**となっています。
- その中、令和4年訪日外国人旅行者数は、**2万4千人**と極端に少ない数字となっています。



徳島県統計書より美馬市作成（令和4年）

## 徳島県における観光消費額

- 令和5年の全国観光消費額において、徳島県は**701億円**で**全国47位**という結果となっています。
- 46位の秋田県とも**40億円差があり、観光地の収益化が急がれています。**

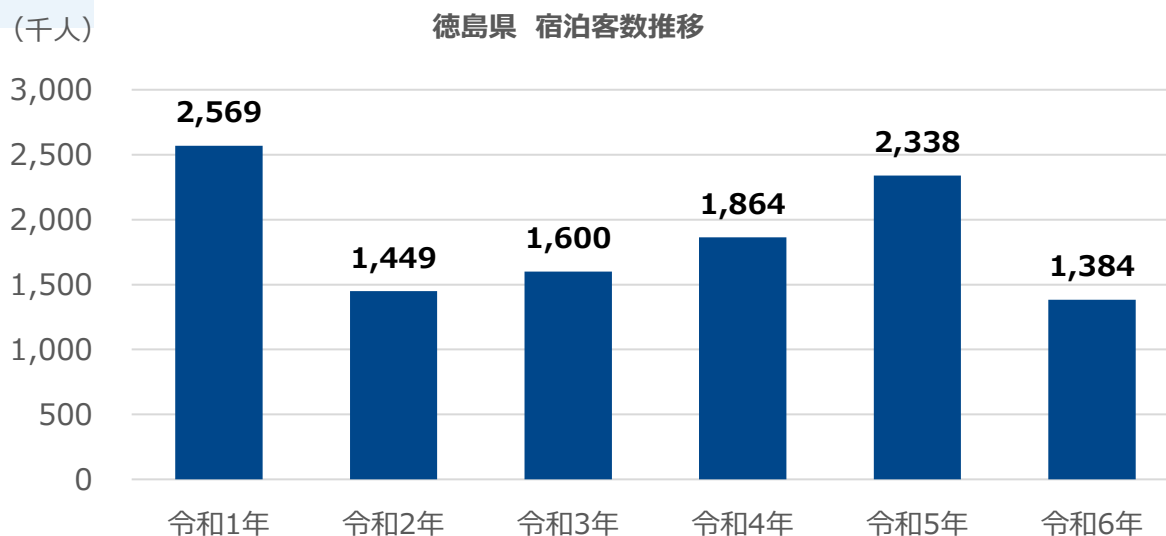


観光庁の統計資料より美馬市作成

# 徳島県の観光動向

## 徳島県における宿泊動向指数

- コロナ前の徳島県宿泊客数は、**約250万人**となっています。
- 令和5年においては、**約233万人**となっていますが、コロナ前の数値まで戻り切っていません。
- なお、宿泊客数約233万人という数値は**令和5年全国第46位**でした。（出典：観光庁）

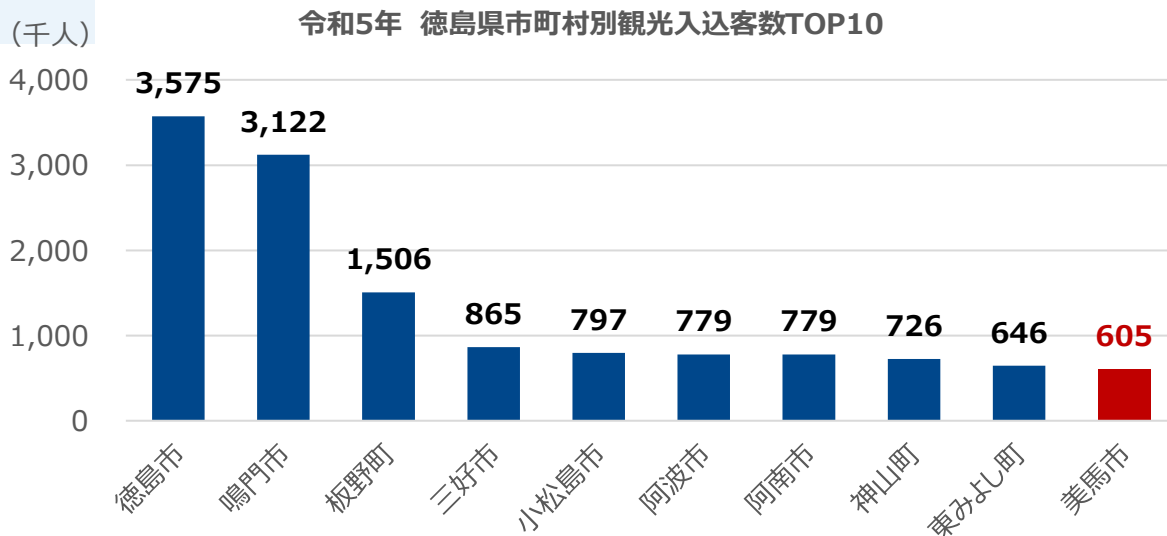


四国運輸局 宿泊旅行統計調査より美馬市作成

# 美馬市の観光動向

## 美馬市における観光入込客数

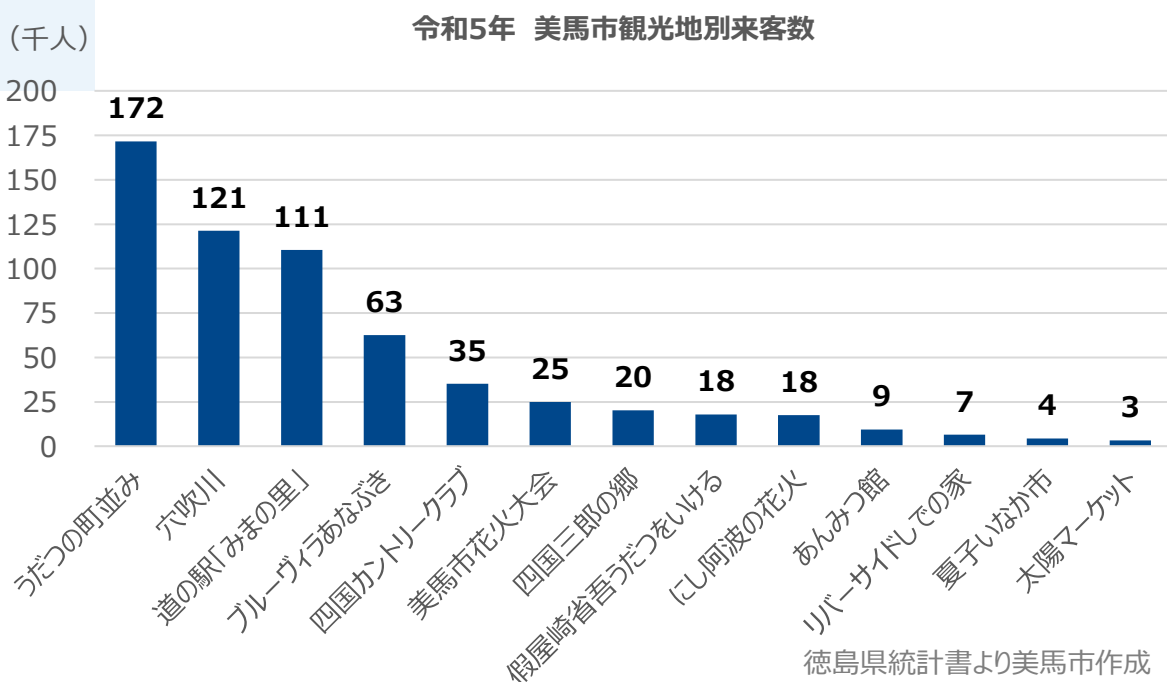
- 令和5年 徳島県市町村別観光入込客数TOP10を比較すると、本市は**60万5千人**で**10位**という結果となっています。
- 1位の徳島市の357万5千人とは、**約6倍**の差があります。



徳島県統計書より美馬市作成

## 美馬市における観光客数内訳

- 令和5年観光施設別の客数ではうだつの町並みが最も多く、17万人でした。
- 道の駅みまの里や四国カントリークラブではコロナ前後で大きな変動はみられませんでした。

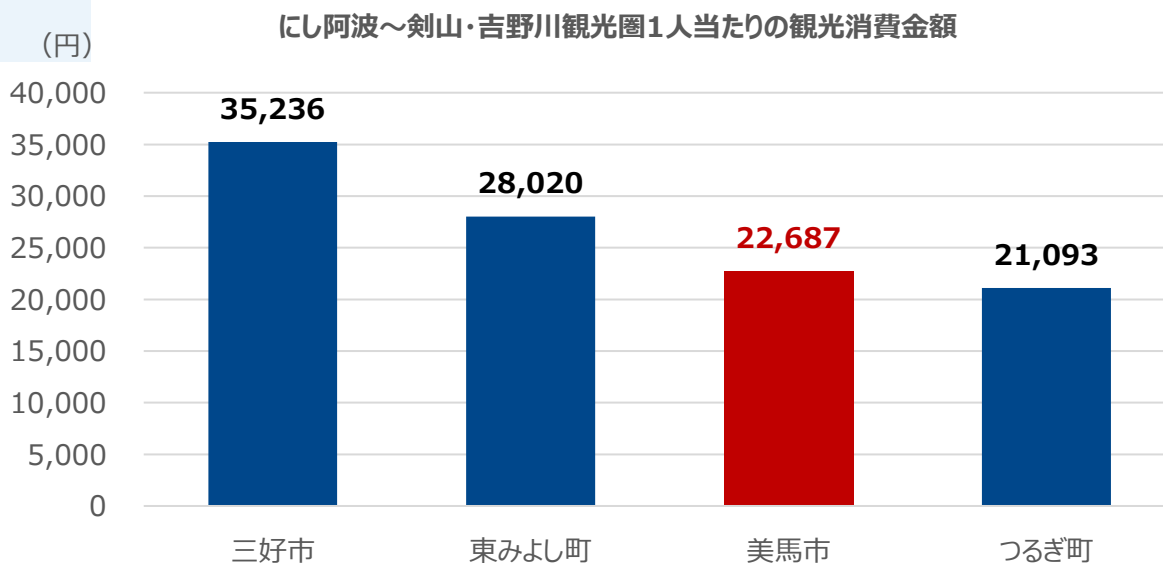


徳島県統計書より美馬市作成

# 美馬市の観光動向

## 美馬市における観光消費額

- にし阿波～剣山・吉野川観光圏における1人当たりの観光消費金額について、**本市は22,687円**となっています。
- 三好市とは、**約1万3千円**程度の差があり、本市の観光消費が低調になっていることがうかがえます。



(株) デイ・プラス「来訪者満足度調査」(令和5年度) より美馬市作成

## 美馬市における観光客数内訳

- 本市の令和5年 延べ宿泊者数は、**54,769人**となっています。  
(徳島県延べ宿泊者数は、2,338,390人)
- 徳島県延べ宿泊者数に対する本市の延べ宿泊者数の割合は、**2.3%**となっています。
- 本市の令和5年インバウンド宿泊者数は**1,185人と前年比で約4.3倍増加**しています。
- 特にアジア圏(中国・韓国・台湾など)は前年比で**17.8倍増加**でした。
- 国別では、令和5年に最も多かったのは**シンガポール**からの宿泊客でした。

## データ分析による考察

- **本市の観光入込客数、消費額は県内においても少ない状況でした。**
- 令和5年観光入込客数は徳島県内でも10番目に位置しています。
- 令和5年1人当たりの観光消費金額について、三好市と1万3千円程の差があります。
- 令和5年徳島県延べ宿泊者数に対する令和5年本市の延べ宿泊者数の割合は、2.3%でした。
- 徳島県自体の観光入込客数、消費額が低迷しています。(全国47位、46位)
- **インバウンド観光客が現状少ない状況です。**
- 本市の令和5年インバウンド宿泊者数は1,185人と前年比で約4.3倍増加しておりますが、まだまだ少ない状況です。
- アジア圏からの観光客は増加傾向であり、シンガポールを中心とした東アジアからの来訪が増加しています。



# 市民アンケート

## アンケート内容

### ■ 調査目的

美馬市民の方々より、観光現状に関するご意見を収集し、観光戦略策定に向けての基礎資料とすることを目的とする。

■ 調査手法（回答数） ネット回答（479件）、アンケート用紙回答（103件）

■ 実施日程 令和6年11月13日（水）～令和6年12月6日（金）

### ■ 回答者状況

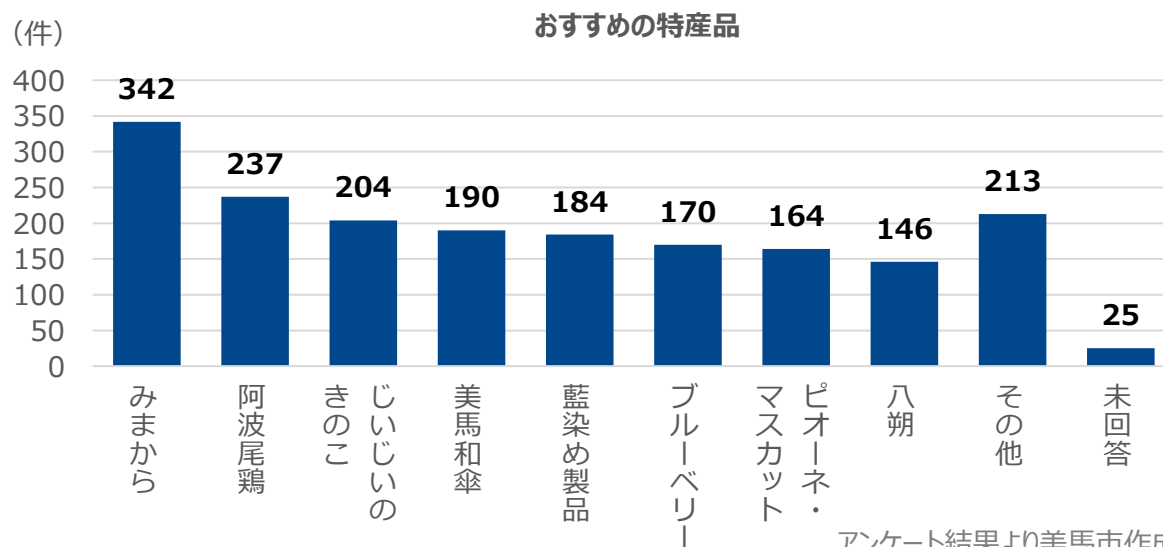
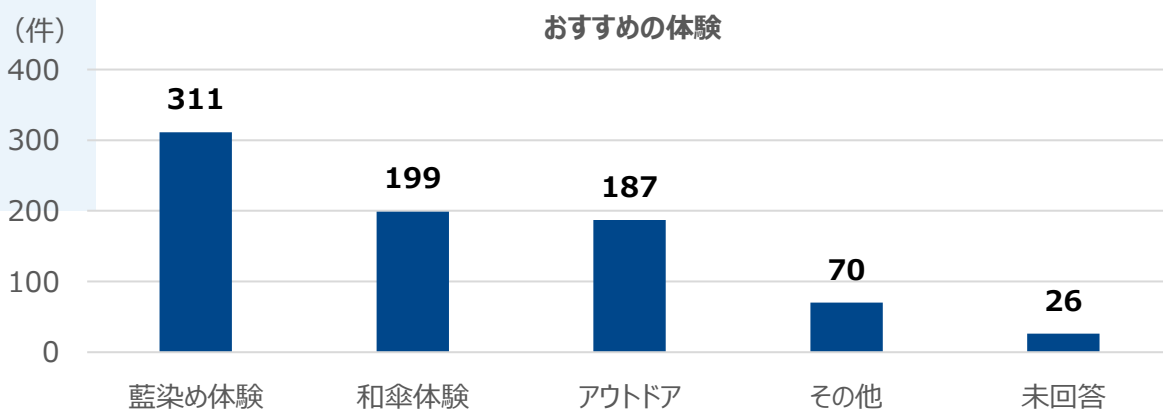
美馬市民582名（脇町257名、木屋平22名、美馬町176名、穴吹町126名、未回答1名）

年代：10代6名、20代31名、30代56名、40代86名、50代146名、60代196名、70代以上61名

### ■ ヒアリング項目

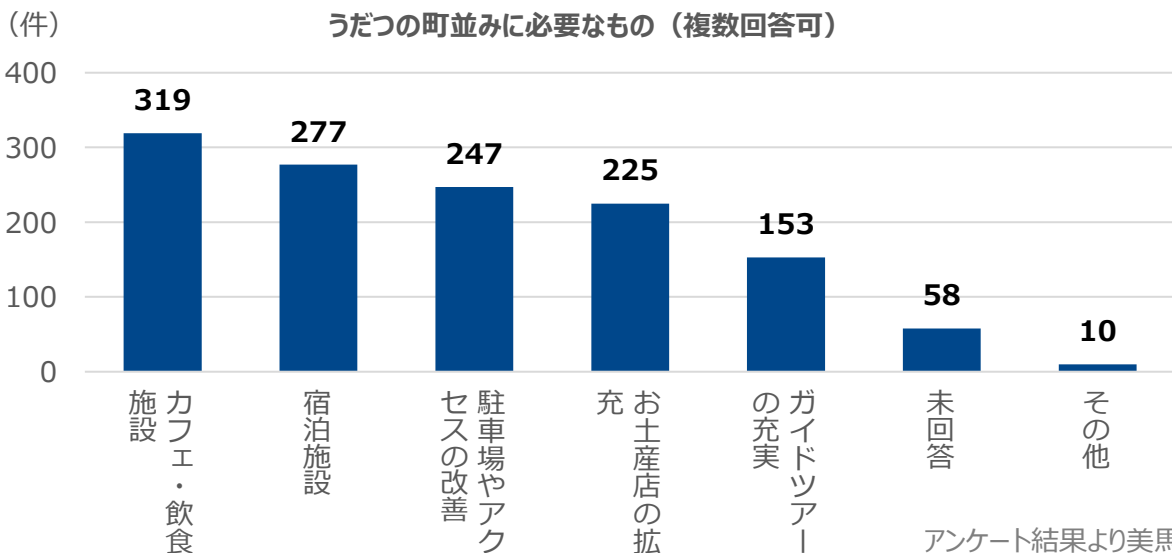
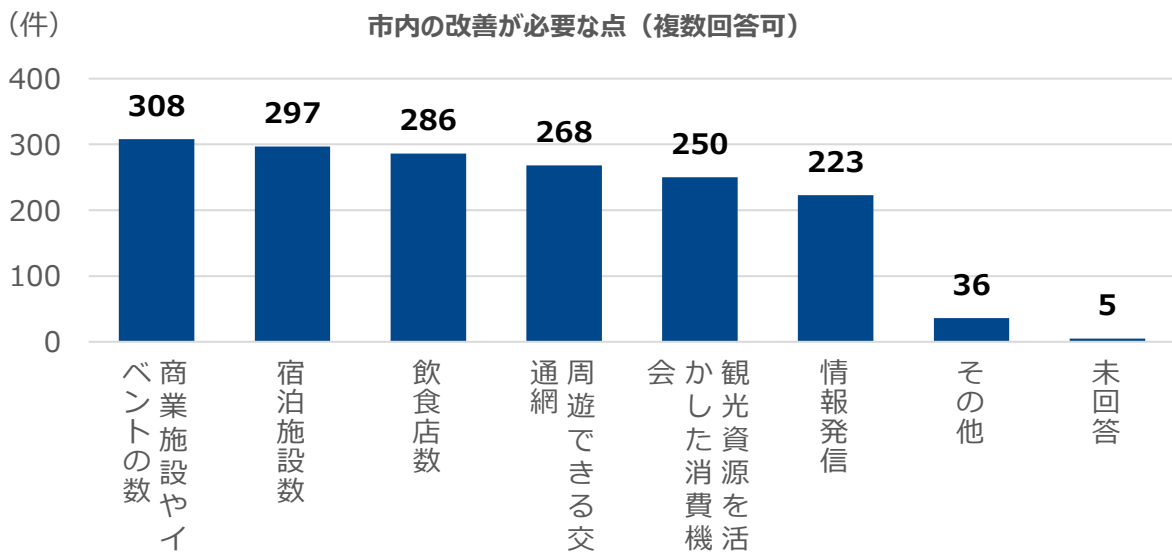
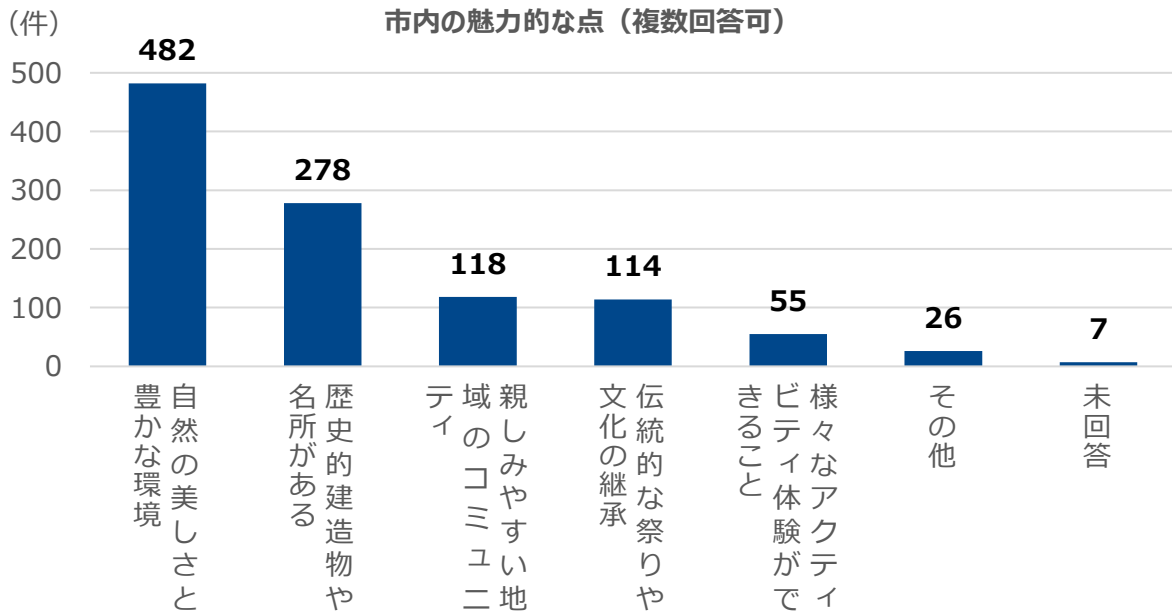
美馬市内のおすすめする場所や特産品について、市内の魅力的な点、観光分野における改善が必要な点、うだつの町並みに必要だと思うものについて

## アンケート結果



アンケート結果より美馬市作成

# 市民アンケート



アンケート結果より美馬市作成

# ヒアリング調査

## ヒアリング概要

### ■ 調査目的

本市の観光現状に関する基礎的なデータを収集し、観光戦略策定に向けての基礎資料とすることを目的とする。

### ■ 調査手法

聞き取り調査（ヒアリング調査）

### ■ 実施日程

令和6年10月3日（木）、4日（金）、8日（火）、令和6年11月13日（水）

### ■ 調査エリア

脇町エリア、木屋平エリア、美馬町エリア、穴吹町エリア

### ■ ヒアリング項目

本市との連携に対する意欲や期待について、観光振興の取り組み内容について、各エリアの観光資源の連携の可能性、観光客誘致のイベントやPRについて（広域的活動含む）

## ヒアリング結果

	美馬市との連携に対する意欲や期待	観光振興の取組	観光資源の連携の可能性	観光客誘致のイベントやPR
脇町	<ul style="list-style-type: none"> <li>●観光を切り口に移住促進や関係人口の増加を多く期待されている。</li> <li>●観光を行う上で、町並みの歴史や価値に理解を求める声もあった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各団体が、町並みの雰囲気作りや住民の協力体制づくり、ボランティアガイド等を行っている。</li> <li>●今後、観光振興を行っていく機運は各エリアでは1番高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●飲食や宿泊施設において、連携の可能性がある。</li> <li>●一方で、連携する上で次世代を育てる活動や町並みを保存していくというサステナブルな観点の意見もあった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●季節ごとや平日のイベントがあればとの意見があった。</li> <li>●PRについては、SNSを中心にしている。</li> </ul>
木屋平	<ul style="list-style-type: none"> <li>●グラススキーをはじめとした、自然コンテンツを活かした取組み意欲がある。</li> <li>●教育旅行等を通じての認知度向上を期待されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自然コンテンツでの誘客、教育旅行の取組みが中心。</li> <li>●エリアで観光に取り組む事業者の母数は脇町エリアより少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●グラススキーを中心とした、自然コンテンツにおいて連携の可能性がある。</li> <li>●エリアのウリは、「自然」ということが窺える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自然を活かしたイベント等での集客が上手くいっている。</li> <li>●一方で、尖らせないと差別化要素が無いとの意見もあった。</li> </ul>
美馬町	<ul style="list-style-type: none"> <li>●寺町エリアを活かした観光客誘致意欲が高い。</li> <li>●エリアの歴史を知ってほしいという声も多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自然や歴史を活かした観光客誘致が主となっている。</li> <li>●エリアで観光に取り組む事業者の母数は脇町エリアより少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●安楽寺等、寺町周辺の寺社の歴史的コンテンツにおいて連携の可能性がある。</li> <li>●連携する上で、ストーリーを紐解き、ウリを見出した上でコンテンツ造成・販売を行っていくのが筋との意見も有。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●PRが中心なエリア。</li> <li>●パンフレット配布やSNSプロモーションを行っている。</li> </ul>
穴吹町	<ul style="list-style-type: none"> <li>●穴吹川のマネタイズ化の声が多い。（環境整備含めて）</li> <li>●空き家・古民家の活用を求める声もあった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●777のイベント中心。</li> <li>●一部で学生や海外留学生の受入を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●穴吹川のマネタイズ化、PR、環境整備の観点において、連携の可能性がある。</li> <li>●将来的には、ジビエ等のコンテンツ連携も視野。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本、主体的にPRを行っていない。</li> <li>●行政によるPRが中心的なエリア。</li> </ul>

# ヒアリング調査

## ヒアリング概要

### ■ 調査目的

外部観光団体より本市の観光現状や連携についてのヒアリングを目的とする。

### ■ 調査手法

聞き取り調査（ヒアリング調査）

### ■ 実施日程

令和6年10月1日（火）、2日（水）

### ■ 調査エリア

（一社）せとうち観光推進機構、（一社）四国ツーリズム創造機構、（一社）関西観光本部

### ■ ヒアリング項目

本市との連携可能性について、本市に観光で期待すること

## ヒアリング結果

	美馬市との連携の可能性について	美馬市に期待すること	その他
せとうち観光推進機構 (一社)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●5か年計画でモデル事業を行っている最中。（滞在時間を伸ばす・地域を感じてもらおう仕組みを作りたい）</li> <li>●観光地のブラッシュアップ。（外国語表記を増やすなど）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●うだつの町並みだけでなく、他の観光地・コンテンツを組み合わせたい。</li> <li>●徳島の伝統工芸を使うことで徳島広域をPRしたい。（例：大谷焼をつかう⇒鳴門へ誘導）</li> <li>●外国人・ヴィーガンなど幅広い顧客への対応をしたい。</li> <li>●ナイトコンテンツ⇒滞在時間の長期化。（祖谷：朝霧）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ヨーロッパを中心にサステイナブルの視点が強い。</li> <li>●世界農業遺産（にし阿波）、農家民宿はヨーロッパの人には響く。</li> <li>●県西部の体験コンテンツ【あわこい】もおすすめ。</li> </ul>
創造機構 (一社) 四国ツーリズム	<ul style="list-style-type: none"> <li>●持続可能な観光での連携。近年は【サステイナブルツーリズム】が注目されている。</li> <li>●美馬市コンテンツ（和傘や藍染めなど）の企画など。</li> <li>●広域DMOとして美馬市に限らず、四国内での周遊をPRしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●サステイナブルツーリズムの取組みとして、国際認証の取得・美馬市のブランド力の向上。</li> <li>●国際認証を取得した自治体トップ100に選ばれている三好市との連携も視野に入れたい。</li> <li>●毎年更新しなくても直近で取得したという実績も大切。海外の旅行会社へのファムツアーのときの選定基準になる。BtoBを意識すると推奨できる認証。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●海外（とりわけ欧米豪）は体験型でかつストーリー性があるものを好む。</li> <li>●にし阿波の花火大会は非常に関心がある。</li> </ul>
関西観光本部 (一財)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●徳島・美馬市へのPR・魅力発信。コンテンツの磨き上げ。都市圏で経験できないこと（地域の暮らし・風景・文化）を発信。</li> <li>●海外旅行者へのPR・発信。</li> <li>●観光客がどこから来て、どこに流れるのかの把握⇒ルート造成。</li> <li>●うだつの町並みとどこを周遊するのか、どんなストーリーにするのかを確立すると紹介しやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の暮らし・文化の発信・うだつのガイド・語り部の育成など。</li> <li>●藍・吉野川などのキーワードでのエリア連携。</li> <li>●美馬市で【食】×【体験】（古民家で食べる、生産者の声を聴く、収穫体験）などの検討。</li> </ul>	



# 現状分析/課題の抽出・整理

## SWOT分析

	プラス要因	マイナス要因
内部環境	<p><b>強み Strengths</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>阿波藍が日本遺産に選ばれている</li> <li>吉野川、穴吹川、剣山などの豊かな自然</li> <li>落ち着いた雰囲気ですローライフや癒しに適している</li> <li>古代～近世までの幅広い歴史を学ぶことができる</li> <li>旧4町村ごとに異なる魅力を有している</li> <li>古くから交通の要所であり、アクセスしやすい</li> <li>藍染・和傘など職人の技を感じるものがある</li> </ul>	<p><b>弱み Weaknesses</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>宿泊施設の不足</li> <li>若者向けの店・空間が少ない</li> <li>観光資源の開発不足（飲食店や夜のコンテンツ、自然や文化を活用したプログラム）</li> <li>SNSやHPでの情報発信が十分にできていない</li> <li>インバウンドに対応できる人員・施設の不足</li> <li>女性目線の魅力発信が弱い</li> <li>自家用車・レンタカーが前提で、公共交通だけでは観光が難しい</li> </ul>
外部環境	<p><b>機会 Opportunities</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国内外のスローライフ（田舎）観光の人気増加</li> <li>移住者を含めた人のつながりの増加</li> <li>令和6年11月から徳島－香港線が就航（徳島初の国際線）</li> <li>令和6年12月から徳島－韓国線も就航開始</li> <li>アフターコロナや円安で国内へのインバウンド増加</li> <li>デジタル技術の活用 ・ 2025年大阪・関西万博</li> <li>サステナブルツーリズムで【にし阿波】が注目を浴びる</li> <li>（特に欧米人は）歴史を感じる旅を好む傾向がある</li> </ul>	<p><b>脅威 Threats</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>祖谷や鳴門、よりアクセスのよい県外への顧客流出</li> <li>少子高齢化・人口減少や地域経済の縮小</li> <li>オーバーツーリズムで景観の乱れやトラブル発生のリスク</li> <li>気候変動による豪雨や土砂災害のリスク</li> <li>インバウンドの競争激化</li> </ul>

## 課題の抽出・整理

町並み	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢化や人口減少で町並み維持が難しい</li> <li>うだつをいける以外の大掛かりなイベントができていない</li> <li>空き家問題・事業所と住居のバランス維持</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>徐々に通過型から滞在型の観光地へ進めており、まだまだ可能性を秘めている</li> <li>飲食店や夜のコンテンツが少ない</li> </ul>
歴史	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史は豊富なのに十分な発信ができていない</li> <li>デジタル化の遅れ（歴史・文化を学べるコンテンツの提供が進んでいない）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史的なストーリーや背景の伝承がプログラムに十分反映されていない</li> <li>歴史を体感できるガイドツアーが限定的</li> <li>地域のストーリーを語れる人が少ない</li> </ul>
自然	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境保護と観光の両立</li> <li>日本一、世界規模を誇るものの情報発信不足（スーパー林道、穴吹川、世界農業遺産等）</li> <li>中尾山高原の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オフシーズンの収益確保</li> <li>【にし阿波】圏の三好市に顧客流出</li> <li>収益を生み出す仕組み作り</li> </ul>
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光と住民生活のバランス</li> <li>観光客と地元住民が交流できる場所の不足（とりわけ職人などの声が聞ける機会）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>旧4町村の連携・交流の強化</li> <li>人口減少による維持・継続が難しい伝統工芸・地域行事</li> </ul>
その他機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>飲食・宿泊施設の整備が十分でない</li> <li>2次交通の確保（特に木屋平）</li> <li>インバウンドの受入態勢を強化</li> <li>新しいものの開発や発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体を俯瞰・理解したうえでの説明が必要</li> <li>男性目線（歴史・伝統）が強く、女性目線のやわらかいもの（アート）の印象が不足</li> <li>ここで何ができるのか周囲からわかりづらい</li> </ul>

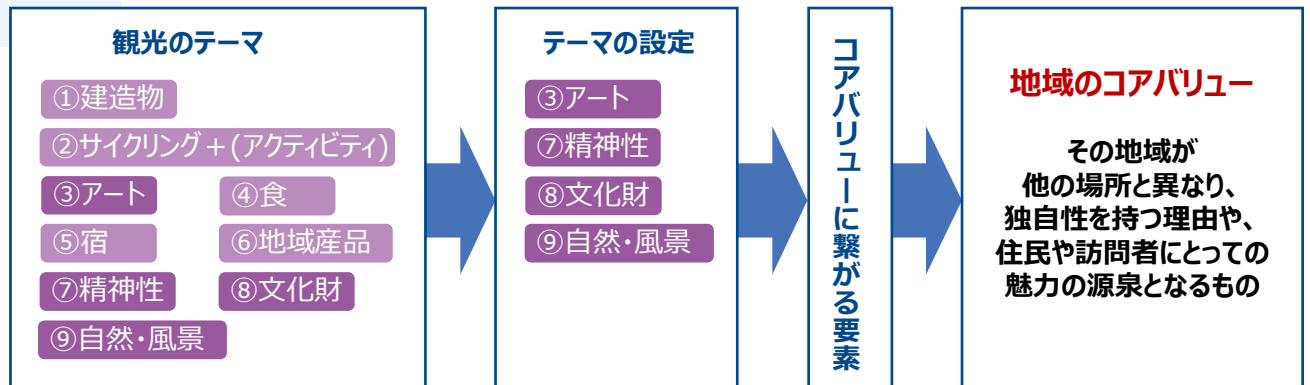


# 3 美馬市観光戦略

# 地域のコアバリューの設定

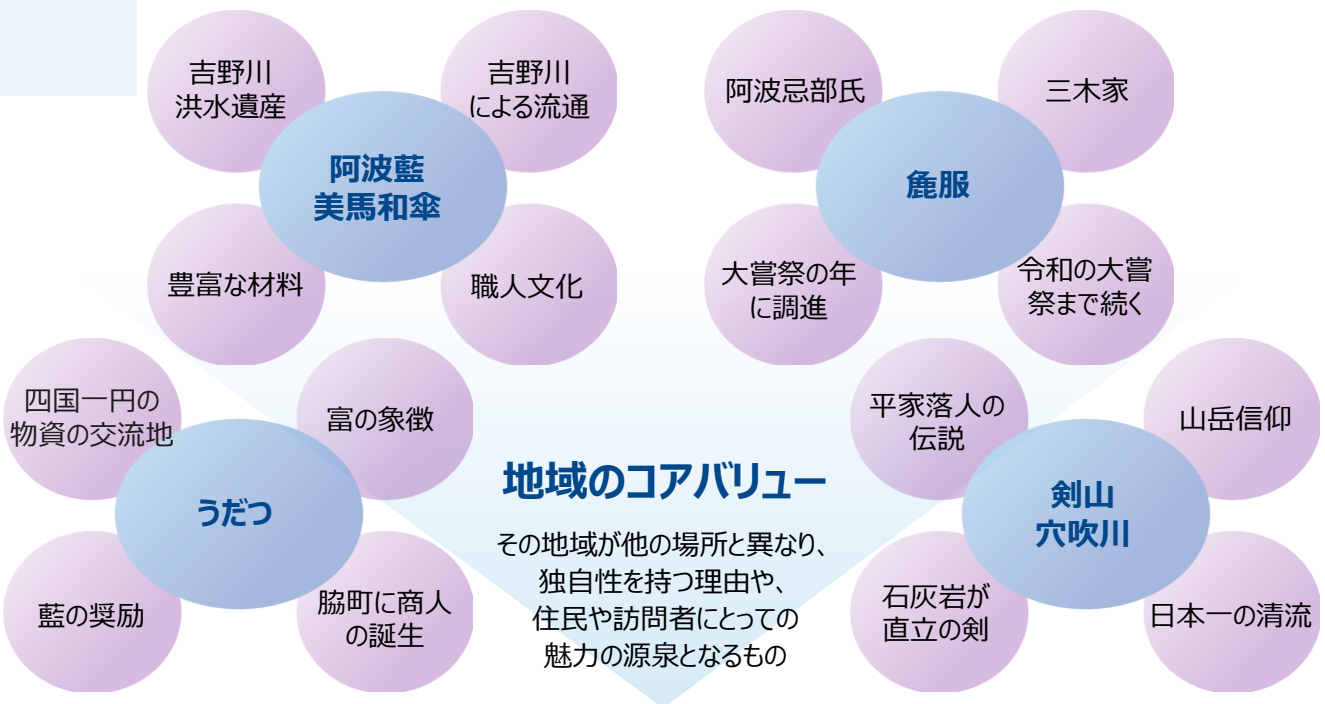
観光に関する様々なテーマの中から、データ/ヒアリング調査等を参考に美馬市で取り上げるべき4つのテーマを選定

ここでは、美馬市の観光テーマを「アート」、「精神性」、「文化財」、「自然・風景」と設定し、コアバリューに繋がる要素を見出し、地域コアバリューを定めました。



テーマの中から以下の要素を見出した上で、3つの地域のコアバリューを設定

要素としては、「阿波藍・美馬和傘」、「麓服」、「うだつ」、「剣山・穴吹川」を抽出。その中から、「吉野川水流が紡ぐアート&クラフト」、「自然循環との共生」、「伝統と革新への美意識」というコアバリューを設定しました。



# 将来像と基本コンセプト

## 本市観光の特徴を整理した上で、基本方針を定め、方針に沿ったコンセプトを設定

### 本市観光の特徴

美馬市の観光の特徴を、観光の現状や課題の分析結果をもとに、次のとおり整理しました。  
本市の観光の特徴として、各時代の美しい建造物が数多く残されており、歴史や文化を感じることができる点が挙げられます。また、伝統文化を継承する精神も重要な特徴の1つです。さらに、美しい自然や保存活動によって地域の魅力を守り続けていること、そして職人の技が光るアート&クラフトも観光客を惹きつける要素となっています。

各時代の美しい建造物が残っており、歴史の流れや文化を感じることができる

吉野川、穴吹川、剣山などの豊かで美しい自然は落ち着いた雰囲気ですローライフや癒しに適している

歴史や伝統文化を継承する精神を大切にしつつ、花火大会をはじめとした新しいものへの取組みは始まっている

世界農業遺産や町並み保存活動を通じて、地域の魅力の持続性を追求している

本市の山々からは剣山や歴史ある建造物や町並みなども一望できる景観が広がる

吉野川水流がもたらす阿波藍を用いた藍染めや美馬和傘など、職人の技が光るアート&クラフト

古くから交通の要所で、アクセスが良好であることから、自家用車やレンタカーでの周遊に適している

各エリアには歴史や自然の美しさの共通点があり、さらに連携を強化することで、儲かる観光に繋げられる可能性がある

### 基本方針

時間に「浸る」旅をする場所の提供  
美を軸としたコンテンツづくりと  
協力体制の構築

自然の恵みから発展した歴史を  
保全・活用し、儲かる観光に  
繋がる好循環な仕組みの構築

### 基本コンセプト

## 3つの美にこだわるまち

本コンセプトでは、本市における剣山や穴吹川といった「自然美」、世界農業遺産等といった「健康美」、そして阿波藍や美馬和傘に代表される「伝統美」の3つの美にこだわり、それらを磨き上げ、最大限活用することを目指しています。また、時間に「浸る」旅をする場所の提供や歴史の保全と活用を通じて、儲かる観光へとつながる好循環の仕組みを構築することを目指しています。

さらに、市民、観光関連事業者、行政など観光に関わるすべての人が、共通の認識を持ち、観光施策を一体となって推進できるよう、方向性を示しました。



# 将来像と基本コンセプト

## 3つの美について

3つの美については「自然美」、「健康美」、「伝統美」と決めました。具体的には、「自然美」とは、吉野川や穴吹川、剣山といった本市の豊かな自然が織りなす美しい景観を指します。「健康美」とは、世界農業遺産や食文化、そして都会では味わえない本市ならではの美しい生活を意味します。「伝統美」とは、美馬和傘や藍染め、鹿服、うだつの町並みなど長い年月をかけて守り続けてきた美しい伝統のことを表します。



## 3つの美にこだわるまち

## ミッション・ビジョン・バリュー

美馬市観光戦略策定協議会でのワークショップなどを通じて、以下のミッション・ビジョン・バリューを設定しました。このミッション・ビジョン・バリューに基づき、観光関連事業者、行政、そして市民が一体となって観光振興に取り組んでいきます。



# ゾーニング計画

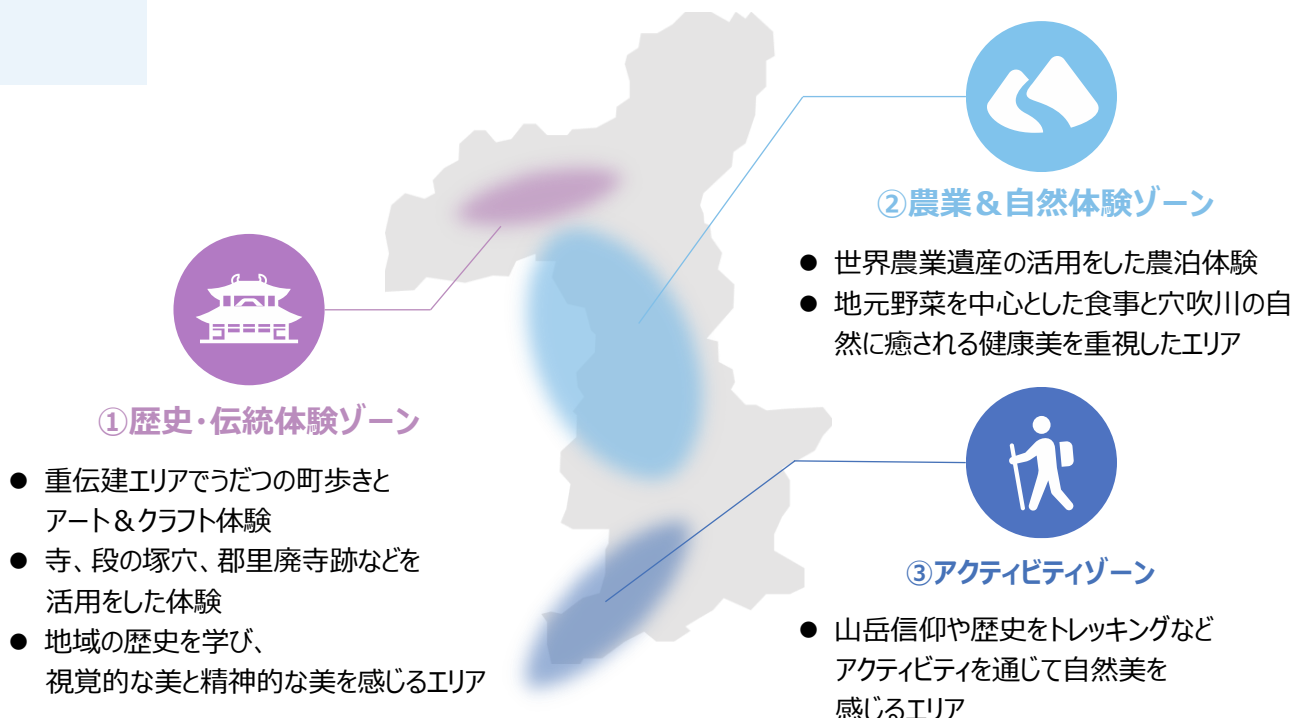
## 想定ターゲット

ターゲット層を明確にすることで、観光地の魅力を最大限に引き出し、観光客のニーズに応えることができます。

ターゲット層	エリアターゲット	ターゲットイメージ
<ul style="list-style-type: none"> <li>スローライフを求める旅行者</li> <li>アート&amp;クラフトに関心ある旅行者</li> </ul>	<p>【国内】</p> <p>関東圏・関西圏</p>	
	<p>【海外】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中国・韓国・台湾・香港 (徳島空港・高松空港と就航)</li> <li>欧米豪</li> </ul>	

## ゾーニングとは

地域の資源を生かし最大の効果を上げるため、3つに区分したゾーンごとの性格を明確化し、また、まちの魅力を高めていく方向性を定めるため、そこでの人々の過ごし方（シーン）を想定するものです。





# 美馬市の目指すイメージ

清流・穴吹川で  
家族や友人で水遊び。  
ゴミの持ち帰りを徹底し、  
綺麗な川を守ります。

ボランティアガイドから  
歴史を学びながら寺町を散策。

世界農業遺産の景観や  
地元野菜を味わい、  
美馬市の生活を体験。



藍染や美馬和傘などの  
美馬市の伝統工芸を  
アート・クラフトとしても  
発信しています。

着物に着替えて、  
タイムスリップした気分。  
写真撮影を楽しみます。

# 目標指標の設定

## KGI・KPIの設定

基本方針

時間に「浸る」旅をする場所の提供  
美を軸としたコンテンツづくりと  
協力体制の構築

自然の恵みから発展した歴史を  
保全・活用し、儲かる観光に  
繋がる好循環な仕組みの構築

基本  
コンセプト

3つの美にこだわるまち

重要  
達成  
指標  
KGI

10年後の美馬市観光消費額 192億円  
(観光入込客数 × 一人当たりの観光消費額)

KPI  
(数値目標)

項目	既存値等	将来目標値 (10年後)
観光入込客数 (人)	605,958	714,000 <b>17%UP</b> ↑
インバウンド観光入込客数 (人)	1,579	3,500 <b>121%UP</b> ↑
宿泊者数 (人)	54,769	71,000 <b>29%UP</b> ↑
一人当たりの観光消費額 (円)	22,687	27,000 <b>20%UP</b> ↑

### ■観光入込客数

令和5年実績を基準とし、基準値の約2% (1.2万人) /年ずつ増加すると仮定し、算出。(なお、徳島県の観光客数は万博開催の令和7年以降は基準値の5%にあたる100万人/年の増加を見込んでいます。) ※コロナ前5年間 (平成27年～令和1年) の平均観光客数は73.7万人でした。コロナ以降の令和5年度の実績を基準値としています。

### ■インバウンド観光入込客数

徳島県のインバウンド観光入込客数の割合が全体の0.26% (令和4年度) であったことから、同割合で本市の既存値を算出しています。

なお、計画1～3年目を0.26%、4～6年目を0.3%、7～9年目を0.4%、10年目を0.5%の割合で推移すると仮定しています。

### ■宿泊者数

令和5年の宿泊者数は観光入込客数に対して約9%でした。毎年約0.1%ずつ増加して10年目には約10%に達すると仮定しています。

### ■一人当たりの観光消費額

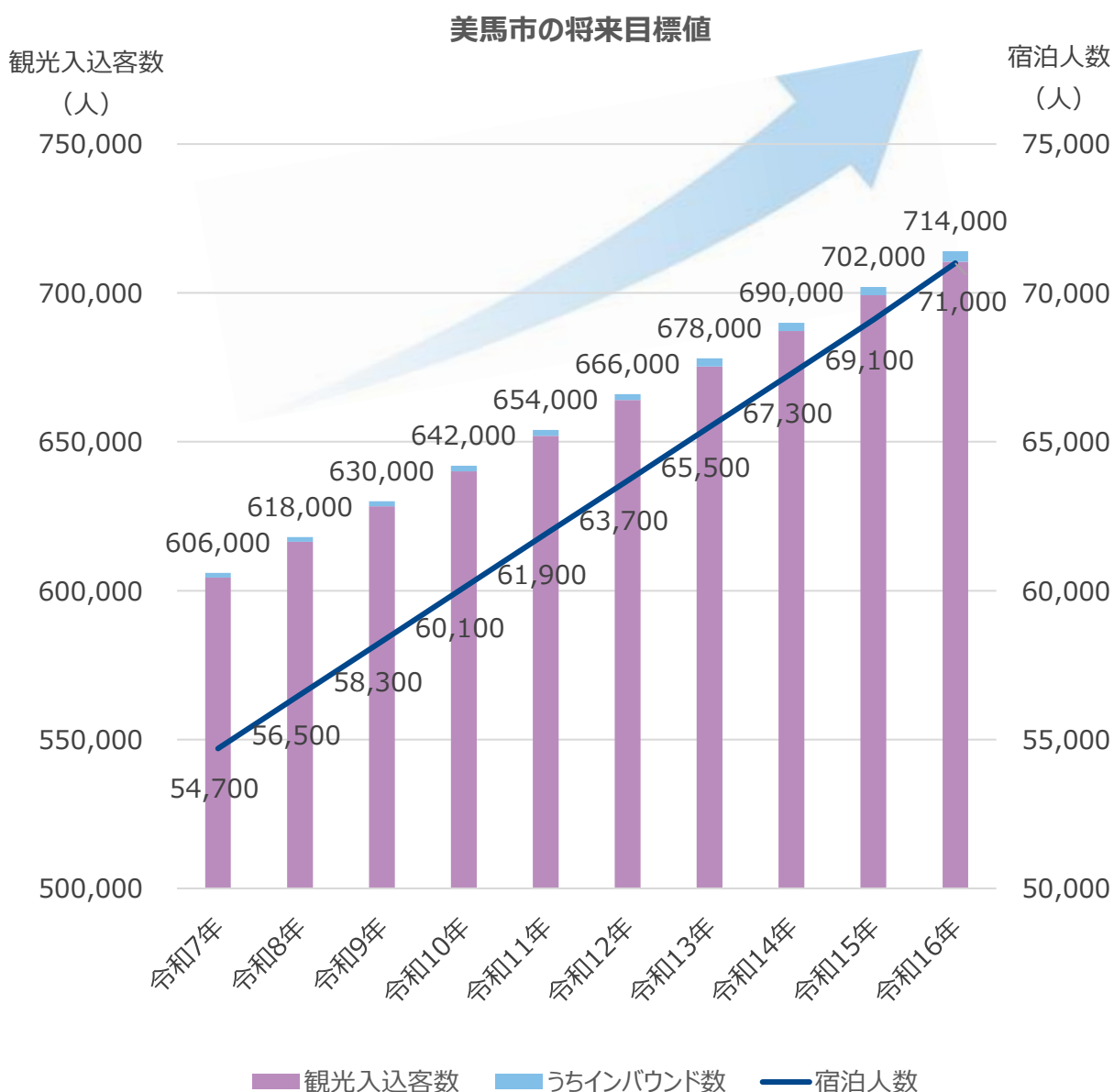
令和5年実績を基準とし、10年後は基準値の約20%増加を目標とします。



# 目標指標及び目標値

## KPI達成イメージ

各KPIの指標推移をグラフで表しました。10年間で「観光入込客数」、「インバウンド観光入込客数」、「宿泊者数」の増加を目標とします。なお、初年度（令和7年）の目標値は令和5年実績をベースに推移すると見込んで、端数調整のみ行っております。



## ロードマップ

### 10年後の美馬市観光消費額 192億円

(観光入込客数 × 一人当たりの観光消費額)

#### Step 1

令和7年～

#### コンテンツ開発・観光客誘致

- 「美」をコンセプトにした新しい魅力づくり及びコンテンツ開発
- 観光にかかわる人の巻き込みを増やす
- 各施設HPの整備や美馬市の観光公式サイト拡充
- Google ビジネスプロフィールの利用方法レクチャー
- SNSでの継続的な面的情報発信

#### Step 2

～令和12年

#### 宿泊施設・飲食店の設置促進 (空き家、空き物件の情報整理・発信、創業支援)

- 地域まるごとホテルのような宿泊施設
- 地元住民も観光客も利用しやすい飲食店の誘致
- 話題性がある宿泊施設・飲食店の誘致
- 農山漁村滞在型旅行の体制整備

#### Step 3

～令和16年

#### 周遊ルート開発・インバウンド受入体制整備

- 各観光施設間での連携・ルート化
- 美馬市周遊のモデルコース策定
- 観光地ごとの駐車場やトイレなどの整備
- インバウンド向け通訳・ガイドの育成
- 歴史や文化を題材にした多言語対応のパンフレット作成
- キャッシュレス対応等

# 実施計画

## 実施計画の方向性

本観光戦略では、5つの方向性を定め、それぞれについて基本施策を展開します。

	方向性	基本施策
実施計画	地域内経済循環を促進する取組	①宿泊施設・飲食店の誘致促進
		②各観光施設・サービスのマネタイズ化・高付加価値化
		③美馬市内の周遊ルート開発
		④新しい魅力づくり（地域産品開発等）
	観光客満足度に関する取組	①「アート&クラフト」「美」のコンセプトにあったコンテンツ開発
		②穴吹川～剣山を味わえるコンテンツ開発
		③にし阿波の傾斜地農耕システムの体験コンテンツ開発
		④ストレスフリーな環境整備（キャッシュレス化・デジタル化）
		⑤観光客誘致・現地対応の強化
		⑥障がい者に配慮したまちづくりとインフラ整備
		⑦平日や夜間でも楽しめるコンテンツ・イベントづくり、四季を味わえるイベント
	環境・自然活用と保全に関する取組	①重伝建エリアの保全・利活用の推進
		②美馬市ならではの魅力的な写真スポットの創出
	人材確保・育成に関する取組	①職人の声が聞ける機会の創出（ワークショップやイベント開催）
		②美馬市に愛着や誇りを持てる環境づくり
③教育旅行の受入れ強化・地元住民とのふれあい		
住民満足度に関する取組	①自然環境と住居に配慮した観光地づくり	
	②観光にかかわる人の巻き込みを増やす	

## SDGsとの関連性

持続可能な観光の発展において、SDGsの目標は重要な役割を担っていることから、本戦略の各基本施策にSDGs17の目標との関連性を整理し、各施策を推進することとします。

### 持続可能な開発目標（SDGs）とは

「持続可能な開発目標（SDGs : Sustainable Development Goals）」と呼ばれる、国際社会共通の目標です。2015年9月に、150カ国を超える世界のリーダーが参加して開かれた「国連持続可能な開発サミット」で決められました。このサミットで「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択され、17のゴール（目標）と、ゴールを達成するための具体的な169のターゲットで構成されています。

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



# 実施計画/地域内経済循環を促進する取組

基本施策

01

## 宿泊施設・飲食店の誘致促進

ターゲット 国内外観光客・市民

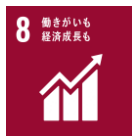
取組時期 令和7年度～

ゾーニング  歴史・伝統体験

 農業&自然体験

 アクティビティ

観光消費額の増加を目指して、宿泊施設・飲食店の設置促進を行います。近年、うだつの町並みでは、古民家を改修した宿泊施設やイタリアンレストラン、ベーカリーショップなどもオープンしており、今後も新たな施設を増やしていくことを想定しています。市内宿泊施設の確保は、本市全域の課題であり、増加を目指します。



具体的な  
実施内容  
(例)

- 地域まるごとホテルのような宿泊施設
- 地元住民も観光客も利用しやすい飲食店の誘致
- 話題性がある宿泊施設・飲食店の誘致
- 農山漁村滞在型旅行の体制整備



基本施策

02

## 各観光施設・サービスのマネタイズ化・高付加価値化

ターゲット 国内外観光客

取組時期 令和8年～

ゾーニング  歴史・伝統体験

 農業&自然体験

 アクティビティ

地域資源を活用した高付加価値型商品や体験を提供します。高付加価値旅行者向けのツアーやガイドサービス、高級宿泊施設や地元特産品を使用した限定メニュー等のコンテンツ開発やマネタイズ化を行います。



具体的な  
実施内容  
(例)

- 地域ならではの特別な体験メニューを造成
- 地域ガイドの育成・有償化
- 観光地の駐車場利用の有償化





# 実施計画/地域内経済循環を促進する取組

基本施策

03

## 美馬市内の周遊ルート開発

ターゲット 国内外観光客、市民

取組時期 令和9年～

ゾーニング



歴史・伝統体験



農業&自然体験



アクティビティ

歴史・伝統体験ゾーンや農業&自然体験ゾーン、アクティビティゾーンを周遊できるルート開発を行います。また、滞在型を意識して、キャンプ場や宿泊施設を利用した滞在型のルート開発も行います。1日目は自然体験、2日目は史跡散策など、本市全域を味わえるルートを開発します。



具体的な  
実施内容  
(例)

- 各観光施設間での連携・ルート化
- 周遊のモデルコース策定



基本施策

04

## 新しい魅力づくり（地域産品開発等）

ターゲット 国内外観光客、市民

取組時期 令和7年～

ゾーニング



歴史・伝統体験



農業&自然体験



アクティビティ

地域産品の開発（ビジュアルが美しいお土産品やメニュー開発等）を行います。昔あったものの復活等、イベント等の点での魅力づくりにも取り組みます。



具体的な  
実施内容  
(例)

- 観光客に選ばれる地域産品の開発
- 世界農業遺産で採れた野菜を飲食店で提供
- 地域産品のブランド化（美馬市ブランドの構築）



# 実施計画/観光客満足度に関する取組

基本施策

01

## 「アート&クラフト」「美」のコンセプトにあったコンテンツ開発

ターゲット 国内外観光客

取組時期 令和7年～

ゾーニング



歴史・伝統体験



農業&自然体験



アクティビティ

伝統工芸の魅力を再発信するため、現代アートとのコラボレーション、ワークショップの開催、ポップアップストアの展開など、多角的なアプローチを推進します。また、史跡や自然もアートの視点で紹介するなど、寺社の空間デザイン、デジタルアートとの融合など、新たな魅力を発見できるような企画・商品開発を展開します。



具体的な  
実施内容  
(例)

- 着物や人力車で町並み散策
- ランプシェード作りや藍染め体験と宿泊をセットにする
- 「うだつをいける」のようなアートイベントの開催
- 吉田家住宅や寺町などで現代アートの展示会を開催



基本施策

02

## 穴吹川～剣山を味わえるコンテンツ開発

ターゲット 国内外観光客

取組時期 令和8年～

ゾーニング



歴史・伝統体験



農業&自然体験



アクティビティ

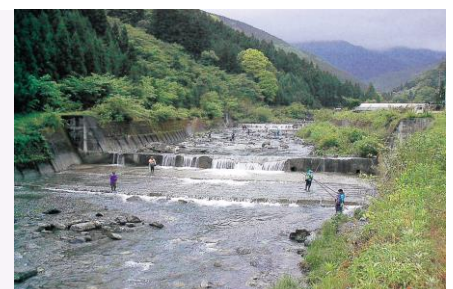
穴吹川～剣山という豊かな自然環境を活かし、季節ごとの自然体験イベント、年齢層に合わせたプログラム、テーマ別のイベントの多様化を検討します。特に、穴吹川ではカヌー体験や鮎釣り、川遊び、剣山では登山や絶景鑑賞など、それぞれの魅力を最大限に引き出すコンテンツ開発を目指します。

地域住民との共創により、ガイドツアーや地元食材を使ったメニュー開発も実施し、より深く地域の魅力に触れることができるような体験を提供します。



具体的な  
実施内容  
(例)

- 季節ごとのイベントの開催  
(鮎釣り、川遊び、栗拾い、紅葉狩りなど)
- 年齢層に合わせたプログラム
- テーマ別のイベントの多様化



# 実施計画/観光客満足度に関する取組

基本施策

03

## にし阿波の傾斜地農耕システムの体験コンテンツ開発

ターゲット 国内外観光客

取組時期 令和8年～

ゾーニング



歴史・伝統体験



農業&自然体験



アクティビティ

世界農業遺産に認定された「にし阿波の傾斜地農耕システム」の壮大な自然と人々の営みをの体験提供を行います。具体的にはサラエを使った土起こし、カヤ刈り、伝統的な農具の使い方など、普段触れることのない貴重な体験を通して、先人たちの知恵と自然との共生について学んで頂くこと等を想定しています。



具体的な  
実施内容  
(例)

- 傾斜地農耕システムについて語れるガイド育成
- 教育旅行・就農旅行の受入体制の強化
- 当地で採れた農作物を提供できる飲食店の増加



基本施策

04

## ストレスフリーな環境整備 (キャッシュレス化、デジタル化)

ターゲット 国内外観光客

取組時期 令和9年～

ゾーニング



歴史・伝統体験



農業&自然体験



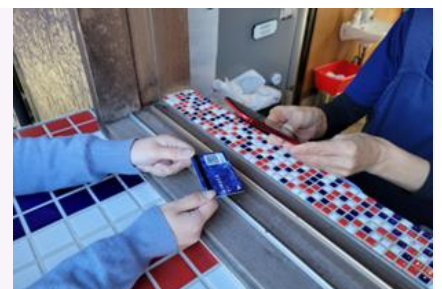
アクティビティ

各店舗において、クレジットカード、電子マネー、QRコード決済など、多様なキャッシュレス決済手段を導入検討し、お客様がスムーズに決済できる環境整備を推進します。



具体的な  
実施内容  
(例)

- キャッシュレス決済導入の呼びかけ
- 各宿泊施設のネット環境整備





# 実施計画/観光客満足度に関する取組

基本施策

05

## 観光客誘致・現地対応の強化

ターゲット 国内外観光客

取組時期 令和9年～

ゾーニング



歴史・伝統体験



農業&自然体験



アクティビティ

地域の観光DMOや宿泊施設と連携し、インバウンド向け通訳・ガイドの育成プログラムを実施します。また、本市の歴史や文化を題材にした多言語対応の観光パンフレットを作成し、外国人観光客の利便性向上を図ります。また、うだつの町並みや寺町、世界農業遺産などを理解・説明できるガイドの増員・育成にも注力します。



具体的な  
実施内容  
(例)

- インバウンド向け通訳・ガイドの育成
- 歴史や文化を題材にした多言語対応のパンフレット作成
- 各施設HPの整備や美馬市の観光公式サイトへの拡充
- Google ビジネスプロフィールの利用方法レクチャー
- SNSでの継続的な面的情報発信



基本施策

06

## 障がい者に配慮したまちづくりとインフラ整備

ターゲット 国内外観光客

取組時期 令和9年～

ゾーニング



歴史・伝統体験



農業&自然体験



アクティビティ

観光施設周辺のインフラ整備として、駐車場の増設・改良、案内標識の整備、公共トイレの増設・改修、バリアフリー・休憩所の設置を進め、地域住民や地元事業者と連携しながら、より魅力的な観光地を目指していきます。



具体的な  
実施内容  
(例)

- 旅行者の周遊促進・利便性向上を図るインフラ整備
- バリアフリー化・休憩所の設置
- 多目的トイレの整備
- ユニバーサルデザインの普及促進



# 実施計画/観光客満足度に関する取組

基本施策

07

## 平日や夜間でも楽しめるコンテンツ・イベントづくり、四季を味わえるイベント

ターゲット 国内外観光客

取組時期 令和8年～

ゾーニング



歴史・伝統体験



農業&自然体験



アクティビティ

春の新緑ウォーキング、秋の紅葉狩りなど、四季折々の自然体験イベントも実施し、一年を通して楽しめるコンテンツ・イベントづくりを目指します。また、中尾山高原等では、季節ごとの星座観測ツアーや星空キャンプなど、夜間も楽しめるコンテンツを強化します。専門家による生解説や天体望遠鏡を使った観測、星空写真撮影体験など、様々なプログラムを用意します。



具体的な  
実施内容  
(例)

- ふたご座流星群などの季節ごとの星座を観測するイベント開催
- 四季折々の花の開花・見ごろ情報の発信
- 各エリアでのフォトコンテストなどの検討





# 実施計画/環境・自然活用と保全に関する取組

基本施策

01

## 重伝建エリアの保全・利活用の推進

ターゲット 県内外事業者・市民

取組時期 令和9年～

ゾーニング



歴史・伝統体験



農業&自然体験



アクティビティ

重伝建エリアの空き家に飲食店や企業オフィスを誘致し、生活環境とのバランスを維持しつつ、人が行き交うにぎわいの場にします。景観・風紀を損ねないような条例・ルール・協力体制の構築も必要です。飲食店や雑貨店などの誘致により本市での滞在時間の増加にもつなげます。



具体的な  
実施内容  
(例)

- 空き家・古民家利活用の推進
- 企業誘致
- 週末や季節毎にマルシェ開催
- 景観を守るためのルールづくり



基本施策

02

## 美馬市ならではの魅力的な写真スポットの創出

ターゲット 国内外観光客・市民

取組時期 令和7年～

ゾーニング



歴史・伝統体験



農業&自然体験



アクティビティ

本市ならではの風景や体験の中で魅力的な写真撮影ができるスポットづくりを行います。着物レンタルや人力車など、写真撮影を楽しめるコンテンツ・サービスを提供し、公式HP・SNSでも発信を強化します。また、撮影者にも自身のSNSなどで発信して本市に興味をもってもらえる仕組みをつくります。



具体的な  
実施内容  
(例)

- うだつの町並みや潜水橋などでフォトスポットをつくる
- (一社)美馬観光ビューローのSNS情報発信強化
- 特別な日(七五三・結婚・卒業)の記念撮影・動画なども撮影できるコンテンツ作成
- フォトコンテストを開催し、SNS等で発信



# 実施計画/人材確保・育成に関する取組

基本施策

01

## 職人の声が聞ける機会の創出 (ワークショップやイベント開催)

ターゲット 国内外観光客・市民

取組時期 令和8年～

ゾーニング  歴史・伝統体験

 農業&自然体験

 アクティビティ

伝統工芸の体験アクティビティで職人から直々に歴史や工程、保存活動について話を聞いたり、ワークショップを開催したりすることで、日本遺産である阿波藍をはじめ、伝統工芸への理解を深めたり、魅力の発信を行います。



具体的な  
実施内容  
(例)

- 通常の体験アクティビティに加えて職人の声が聞ける機会の提供を行う
- インバウンド向けのコンテンツ創出
- 月1回程度のワークショップを開催



基本施策

02

## 美馬市に愛着や誇りを持てる環境づくり

ターゲット 市民

取組時期 令和8年～

ゾーニング  歴史・伝統体験

 農業&自然体験

 アクティビティ

本市の自然や歴史、文化について市内外の人々が広く学べる機会をつくります。子供から学者まで幅広い層に興味を持ってもらえるような工夫も取り入れます。本市の歴史・文化について学び、将来的にボランティアガイドをはじめとする観光関連事業者の増員に繋がります。



具体的な  
実施内容  
(例)

- 教育委員会等と連携して、本市の歴史を学ぶ機会を設ける
- 教育機関・研究機関との連携
- 子供向けの取組みも検討 (本市の歴史クイズなど)



# 実施計画/人材確保・育成に関する取組

基本施策

03

## 教育旅行の受入れ強化・地元住民とのふれあい

ターゲット 国内外観光客

取組時期 令和9年～

ゾーニング



歴史・伝統体験



農業&自然体験



アクティビティ

伝統工芸や世界農業遺産など本市の文化や生活を子どもだけでなく、大人の教育旅行等といったテーマでの受入れ強化を図ります。地元住民とのふれあいも行い、都会の生活と違う、本市ならではの文化・生活を味わい、リピーターやファンを増やします。



具体的な  
実施内容  
(例)

- 半日かけて体験・講義ができるコンテンツ
- 教育旅行の民泊受入れ先の増加
- 地域のお手伝いをしながら旅をする仕組みの導入
- 長期滞在できるように整備





# 実施計画/住民満足度に関する取組

基本施策

01

## 自然環境と住居に配慮した観光地づくり

ターゲット 国内外観光客・市民

取組時期 令和7年～

ゾーニング



歴史・伝統体験



農業&自然体験



アクティビティ

観光客の誘致に併せて、自然や景観の保護のために、看板設置などによりゴミのポイ捨てに注意喚起をしたり、駐車場の整備を行います。うだつの町並みや寺町などは周辺に住宅も立ち並んでおり、住居に配慮した観光地づくりが求められます。



具体的な  
実施内容  
(例)

- 駐車場やゴミ箱の整備
- 植栽やゴミ拾い等の自然環境保護活動の実施
- ポイ捨て防止のための看板設置
- 各施設に再利用を意識した取り組みの提案（SDGs）
- SDGsについての勉強会の実施
- 夜間営業自粛などのルールづくり



基本施策

02

## 観光にかかわる人の巻き込みを増やす

ターゲット 地域事業者

取組時期 令和7年～

ゾーニング



歴史・伝統体験



農業&自然体験



アクティビティ

本市の観光観光に関わる人の巻き込みを増やすためにやさしいコミュニティを形成します。今回策定する観光戦略の実現性を高めるために話し合いの場をもうけます。事業者同士で情報交換・課題解決ができる関係を構築します。



具体的な  
実施内容  
(例)

- SNSを活用したコミュニティの形成
- 美馬市観光戦略推進協議会（仮）を結成
- 定期的な観光情報の共有により一体となった観光地づくりを目指す
- 各施設間での共同イベントなどを実施
- 地域参入を検討している事業者に対するコミュニケーションの場を提供



# 実施計画

## 実施スケジュール

	実施内容	R7年度	R8年度	R9年度
地域内経済循環を促進する取組	宿泊施設・飲食店の誘致促進	●	→	→
	各観光施設・サービスのマネタイズ化・高付加価値化		●	→
	美馬市内の周遊ルート開発			●
	新しい魅力づくり (地域産品開発等)	●	→	→
観光客満足度に関する取組	「アート&クラフト」「美」のコンセプトにあったコンテンツ開発	●	→	
	穴吹川～剣山を味わえるコンテンツ開発		●	→
	にし阿波の傾斜地農耕システムの体験コンテンツ開発		●	→
	ストレスフリーな環境整備 (キャッシュレス化、デジタル化)			●
	観光客誘致・現地対応の強化			●
	障がい者に配慮したまちづくりとインフラ整備			●
	平日や夜間でも楽しめるコンテンツ・イベントづくり、四季を味わえるイベント		●	→
環境・自然活用と保全に関する取組	重伝建エリアの保全・利活用の推進			●
	美馬市ならではの魅力的な写真スポットの創出	●	→	→
人材確保・育成に関する取組	職人の声が聞ける機会の創出 (ワークショップやイベント開催)		●	→
	美馬市に愛着や誇りをもてる環境づくり		●	→
	教育旅行の受入れ強化・地元住民とのふれあい			●
住民満足度に関する取組	自然環境と住居に配慮した観光地づくり	●	→	→
	観光にかかわる人の巻き込みを増やす	●	→	



# 推進体制

## 推進体制

観光戦略の実施体制は、本市と地域DMOの（一社）美馬観光ビューローが中心となって関係者と連携しながら、それぞれの施策に取り組んでいきます。

